

情報リテラシーを段階的・体系的に学んで「情報の達人」に!!

各巻の内容

第1巻 図書館へ行こう! インターネット時代の情報活用入門

情報を主体的に使いこなす力、「情報リテラシー」について解説する。図書・雑誌からDVD・インターネットまで揃えた「メディアアセンダー」である図書館を舞台に、情報を入手、活用する方法について説明しながら、現代社会における情報リテラシーの大切さを実感させる。大学新入生などに最適。



■収録内容

- 第0講 総論 図書館へ行こう!
- 第1講 大学で学ぶということ
- 第2講 情報リテラシーは学習の基盤
- 第3講 問題解決のための情報活用
- 第4講 さまざまなメディアと情報源
- 第5講 情報の整理・分析と加工・発信
- 第6講 図書館のコレクション
- 第7講 図書館で資料・情報を探す
- 第8講 図書館サービスのいろいろ
- 第9講 図書館は世界に広がる窓
- 第10講 「情報の達人」をめざして

第2巻 ゼミ発表をしよう! テーマ選びからプレゼンテーションまで

ゼミ発表におけるテーマ選びからプレゼンテーションまでの一連の過程を通して、情報活用の手順と方法について解説する。情報活用の過程を「探索と収集」「整理と分析」「加工と発信」の三領域に分け、必要な知識と技能についてステップバイステップで説明する。ゼミなどで発表する大学生や社会人に最適。

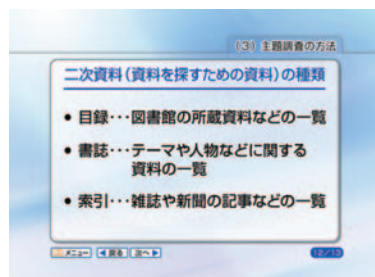
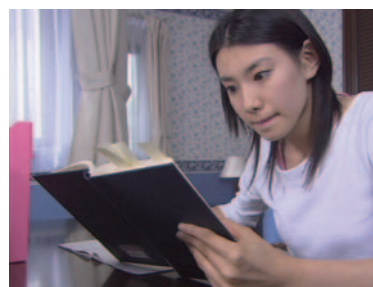


■収録内容

- 第0講 総論 ゼミ発表をしよう!
- 第1講 情報リテラシーの意義
- 第2講 情報を探し出す仕組み
- 第3講 データベース検索の手順と手法
- 第4講 データベースを使いこなす
- 第5講 資料の保管と分類
- 第6講 資料の評価と情報の分析
- 第7講 プレゼンテーションの準備
- 第8講 プレゼンテーションに臨む
- 第9講 著作権を守る
- 第10講 セキュリティを高める

第3巻 レポート・論文を書こう! 誰にでも書ける10のステップ

レポート・論文を作成する具体的な手順と方法について解説する。テーマの選択、文献の収集、読解、執筆など、一連の過程について、10のステップに沿って説明する。大学でのレポート・論文はもちろん、卒業後の報告書や企画書の作成などでも発揮できるスキルの伝達をめざす。レポートや論文を執筆する大学生や社会人に最適。



■収録内容

- 第0講 総論 レポート・論文を書こう!
- 第1講 レポート・論文の作成手順
- 第2講 テーマの選択
- 第3講 事前調査と仮アウトライン
- 第4講 関連文献の調査
- 第5講 データベースの検索
- 第6講 視聴覚・電子メディアの調査
- 第7講 アンケートとインタビュー
- 第8講 文献の読解と執筆
- 第9講 出典の表示
- 第10講 仕上げ



各巻の構成

「情報の達人」は、「ビデオ(映像)」に加えて「スライドショー」「テキスト」「ウェブ」を、目的などに合わせ、自由に組み合わせてお使いいただける教材パッケージです。



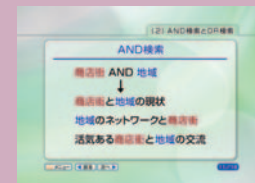
1. ビデオ(総論)

総論(第0講)は、各巻のテーマについて、実写やアニメ、CGなどを駆使した映像でわかりやすく説明しています。図書館の講習会や授業の初回などに上映するのに適しています。上映時間は、各巻とも15分程度にしました。



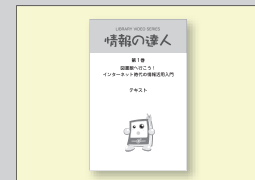
2. ビデオ(各論)

各論(第1~10講)は、各巻の内容を10回に分けて詳細に説明しています。各講の冒頭にはプロローグを置き、受講者の興味を引きつけたうえで、具体的な知識と技能の解説に移ります。図書館の講習会や授業の各回などに上映するのに適しています。上映時間は各巻各講とも5~10分程度にしました。



3. スライドショー

ビデオ(総論・各論)の内容を口頭で説明するときに利用できる連続静止画です。プレゼンテーションソフトのように説明者のペースで一枚一枚進めていくことができます。各巻各講とも約15枚とし、ビデオの内容を振り返るのにも、テキストの内容を詳しく解説するのにも使えます。



4. テキスト(DVDに付属)

ビデオの内容について詳細・補足説明を行なった小冊子です。講習会や授業などにおけるビデオやスライドショー(口頭説明)との併用はもちろん、「読んでわかる」ように書かれているので、自習用の教材としても適しています。

* テキストのみの別売も行います。詳しくは、「情報の達人」ウェブサイトまで。



5. ウェブ(インターネット)

ビデオ、スライドショー、テキストと併せて利用できるさまざまな教材をウェブサイトを用意します。また、「情報の達人」の商品案内や活用レポートなどの最新情報を随時、掲載していきます。

* 「情報の達人」ウェブサイト(<http://www.kinokuniya.co.jp>)にて2007年3月掲載開始予定。

活用例

図書館での活用例

図書館オリエンテーション(ガイダンス)

対象: 大学新入生 時期: 4月 時間: 30分

- 1 導入(約5分)・・・オリエンテーションの目的などを説明
- 2 ビデオ上映(約15分)・・・第1巻第0講(総論)
- 3 口頭説明(約10分)・・・ビデオの内容を踏まえて、自館のサービスなどについて解説(スライドショー利用)
第1巻テキスト(別売)を全員に配布



授業での活用例

授業科目「レポート・論文執筆法」

対象: 大学2・3年生 時期: 前期 時間: 各90分×約13週(半期)

※ 事前に第3巻テキスト(別売)を全員が購入

第1回

- 1 導入(約10分)・・・授業科目の目的などを説明
 - 2 ビデオ上映(約15分)・・・第3巻第0講(総論)
 - 3 口頭説明(約60分)・・・ビデオの内容を踏まえて詳細に解説(スライドショー・テキスト利用)
 - 4 まとめ(約5分)・・・次回までの課題を指示(ウェブ教材利用)
- 第2回以降・・・第1回同様の組み立てで、1講ずつ取り上げる